

タイトル	ユネスコスクール(ESD 学習)でのふるさと学習
名称(学校・地域)	山ノ内町立西小学校 ・ 山ノ内町
日時・場所等	
ホームページアドレス	<a href="http://town.yamanouchi.nagano.jp/kyoiku/nishisho.html">http://town.yamanouchi.nagano.jp/kyoiku/nishisho.html</a>

### 【教育活動の内容】

山ノ内町立西小学校は、高社山のふもとに広がる夜間瀬地区を学区としています。平成 29 年度に北小学校と統合し、全校児童 142 名の学校となりました。

山ノ内町は、町内のほぼ全域が志賀高原ユネスコエコパークに登録されており、すべての小中学校がユネスコスクールとして地域学習に取り組んでいます。ここでは本校の代表的な活動(ふるさと学習)を二つ紹介します。

#### ○昆虫(水生生物)学習



統合により学区が広がったことで、旧北小学校学区にあるビオトープとその周辺で昆虫(水生生物)学習をしました。このビオトープは、地域の方々が子どもたちの学習のために、と休耕田を掘り下げて水を張ってくれたものです。竜王山から流れてくる清流を取り込んで自然のままの池となっています。



春、まだ水が冷たい頃にどんな昆虫や水生生物がいるか調べました。網を泥の中まで入れて泥を洗い流すと、いろんな水生生物が現れました。子どもたちにとって初めて見る水生生物もいて、一緒に来てくださった水生生物に詳しい講師の先生に名前や特徴などを教えてもらいました。見つけた水生生物は、トノサマガエル、アマガエル、

オタマジャクシ、ゲンゴロウ、ヘビトンボの幼虫、タイコウチ、カワニナ、ヤゴ、アメンボ、ミズカマキリ、マツモムシなどたくさんの種類がいました。

夏の終わり頃、二度目の観察に行きました。春にあんなにいたオタマジャクシが数えるほどになり、水性生物の種類もずいぶん減っていました。でも、春には見つけられなかった魚がいてびっくりしました。

昆虫学習を通してふるさとの自然の豊かさと生き物の多様性を体験することができました。

#### ○リンゴ栽培

学校のリンゴ畑にリンゴの木が 5 本あります。その木を 6 つの縦割り班と 3 年生が世話をしてリンゴを育てています。「リンゴの先生」に「花摘み」「摘果」「葉摘」「玉回し」とたくさんの作業のやり方を教えてもらいながら収穫を迎えます。3 年生は、駅前でお客さんに対面販売をしたりお世話になった方々を招待して収穫祭をしたりします。

